

第8号

カッティングシートの紹介

～ 切り文字ができるまで ～ 豆知識 ～

こんにちは！アイマックスです。

いつの間にか暖かくなってきましたねえ～。

2月は日夜現場を飛び回っていたら、配信間隔が空いてしまいました。。

今回は**カッティングシート**について紹介します。

インクジェット出力機の性能が進歩しても、展示会やイベントの現場では貼る位置の調整が出来るなどのメリットがあり、カッティングシート切り文字のご依頼も多いです。

アイマックスでは現場の状況に応じて、**カッティングシート**、**出力シート**、**スコッチカルフィルム**、**テンタック**などを使い分けています。

■ 切り文字が出来るまで。「意外と手間がかかっているんです」



1. データを送り、プロッターでカット。



2. 「カス取り」 不要な部分を取り除きます。



3. 2色以上ある場合は、カス取りと同時に他の色を手作業ではめ込みます。



4. グラデーションが入っていたら出力シートをカットアウトしてはめ込みます。

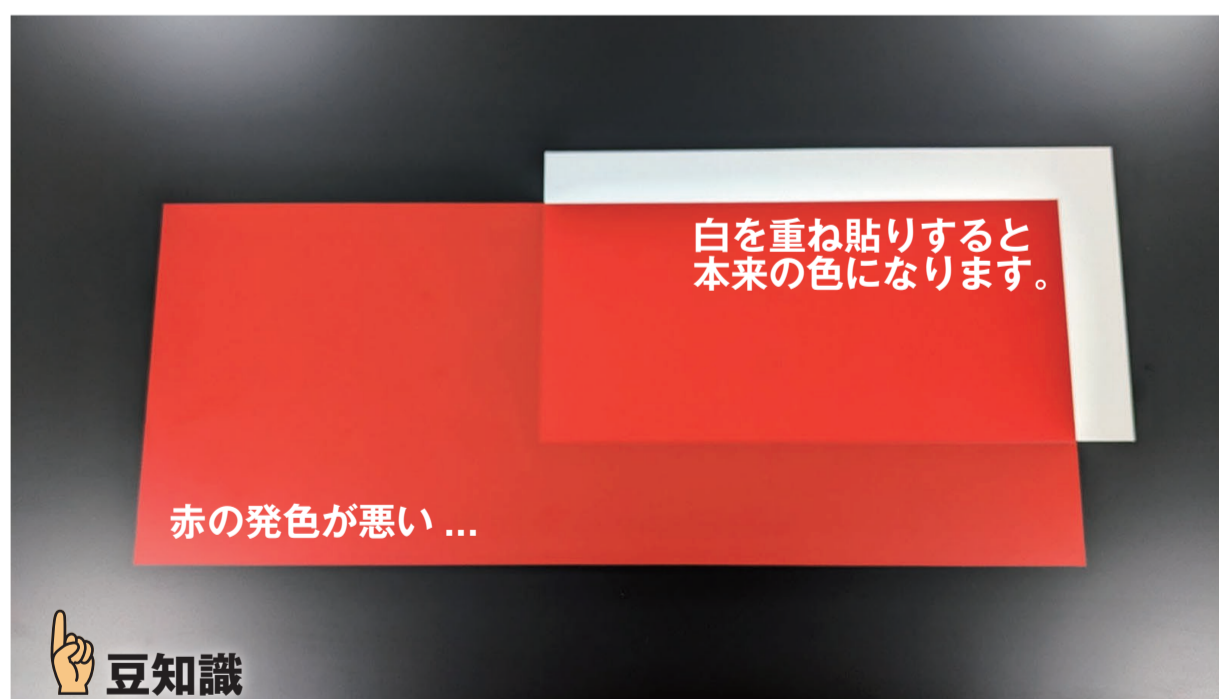


5. リタックシートを貼り、目安のセンターラインを書き入れて周囲をカットして完成。



6. 現場施工

ここはカッティングシートに出力しました。



豆知識

上の画像のように、明るい色のカッティングシートを濃い色の壁にそのまま貼ると、壁の色が透けて発色が悪くなってしまいます。

こういう時は、白のカッティングシートを重ね貼りして切り文字を製作しています。

濃い色の壁で使用する際は、その旨をお伝えください。